

CREATE HOPE in the WORLD
世界に希望を生み出そう

2023～24 年度年度

国際ロータリー会長 Gordon・R・McInally



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第 14 回例会 2023.11.27 (#2396) 舞の間
例会ホスト・紹介係 加賀会員
受付係 秋山会員 末竹会員
司会者 住吉会員 ソングリーダー 金子会員

卓話 「ベラルーシ国立劇場における
日本人バレリーナの生活」

元ホリショイ劇場バレリーナ 大野 麻佑子氏
紹介者 齊藤会員

前々回の報告

第 12 回例会 2023.11.6 (#2394) 悠の間
例会ホスト・紹介係 植芝会員
受付係 乳井会員
司会者 住吉会員 ソングリーダー 金子会員

卓話 税を考える週間に因んで

「税務行政の将来像～変わる事・変わらない事」
麹町税務署長 佐藤 寿一氏
紹介者 地引会員

前回の報告

第 13 回例会 2023.11.15 (#2395)

千代田 6 クラブ合同例会 @帝国ホテル

会長報告

- 1) 本日は、税を考える週間に因んで、麹町税務署長の佐藤様にお越しいただきました。
- 2) ガバナー補佐の岩崎俊治様、分区幹事の内藤勝弘様がお越しです。
- 3) 皆様からご寄付頂いているにこにこボックスから、バギオ基金へ寄付をいたしました。お礼状が届いております。
- 4) 米山奨学生の李さんが出席です。
- 5) 12/4 にはクラブ年次総会を開催致します。次年度理事役員の公示を致しましたので、宜しくおねがい致します。

幹事報告

- 1) 来週は、15日(水))に千代田6クラブ合同例会が帝国ホテルにて開催されます。その為、13日(月)のこの会場の例会はございません。次回通常例会は11月27日です。
- 2) 今期の地区大会は2月29日(木)です。是非ご参加下さい。とくに入会の浅い方は、新入会員昼食会へもご参加下さい。地区大会のご登録は、登録料を添えて12月4日までにお申し出下さい。
- 3) 例会終了後に定例会理事会がございます。該当の方は宜しくお願いします。

例会記録

会員総数 57名 出席会員数 29名
ゲスト 2名 ビジター 1名
その他 0名 海外ビジター 0名
事務局 2名

ニコニコボックス

齊藤会員:理事会宜しくお願いします
若林会員:岩崎ガバナー補佐・内藤分区幹事
宜しくご指導ください。
金子会員:10月に孫が1歳を迎えました。
荒川会員:6回目のコロナワクチン接種、
肩がだるいです。

末竹会員:阪神「あれ」しました、おめでとう
阪神ファンではありませんが。

結婚記念日:須藤会員(14日)乳井会員(23日)
パートナー誕生日:浅野会員(21日)

次回予告

第15回例会 2023、12、4 (#2384)

会場:舞の間
例会ホスト・紹介係 山本会員
受付係 地引会員 藤谷会員
司会者 乳井会員
ソングリーダー 鄭会員

卓話「空飛ぶクルマ」

エアモビリティ㈱代表取締役社長 & CEO

浅井 尚 氏
紹介者 荒川会員

例会終了後、クラブ年次総会開催



インセッションスピーチ(9/1 入会)



山内美穂子と申します。この度は東京麹町ロータリークラブに入会をさせて頂きありがとうございます。

私は1963年東京の杉並区で生まれ、千代田区九段にある白百合学園で高校までの12年を過ごし、大学は津田塾大学、1985年卒業後は富士通株式会社システムの統括本部に5年間お世話になりました。システムエンジニア

としては素質ゼロ以下ながら、「人間はエラーをするものであるから予めそれに備えよ」と教訓を得ることができました。その後、アメリカのコネル大学大学院に入学。人生で最も恥をかき勉強に汗をかき1994年MBAを取得、帰国後すぐに、現在の仕事である(株)日本ユニ・エージェンシー時に就職しました。

仕事内容:

- (株)日本ユニ・エージェンシーは神田神保町にあります、創立56年目、社員44名のリテラリー・エージェンシーで、私は2009年から代表を務めております。リテラリー・エージェンシーは著作権代理人であり、海外で出版される本を日本で翻訳出版、逆に日本で出版されている書籍も海外に翻訳出版する、その双方向の本の、版元への売り込みと著作権者対応や契約交渉をする仕事です。
- 弊社仲介例はビジネス書ではカーネギーの「人を動かす」、ジム・コリンズの「ビジョナリーカンパニー」、スティーヴン・コヴィーの「七つの習慣」、グレッグ・マキューンの「エッセンシャル思考」、スティーブン・R・コヴィーの「七つの習慣」等があります。児童書では「ミッケ」とか「ウォリーを探せ」などが長く読まれているかと思えます。
- 毎日具体的にどんな事をしているかといいますと、まだ本の形にはなっていないけれど、こんな本を書こうとしているといった企画書、もしくは編集前の粗い原稿のようなものが少なくとも毎日50冊以上届きますので、ざっと見まして日本で翻訳出版される可能性のあるものを選び出し、日本の出版社の編集者さんに検討して頂き、日本語出版をご希望の出版社さんがあれば、海外の著作権者との間に立って契約を交渉するという事を行っております。
- 人気のある著者の作品であれば、複数の出版社さんから手が挙がり、競合入札を執り行うこともあります。ただ実際は日本のどの出版社さんからも手が上がらない本の方が多く、いつも海外の著作権者にお尻を叩かれつつ、首まで本に埋まって仕事に追われています。
- ビジネス書、小説、IT書、医学書、漫画、児童書、学術書とありとあらゆるジャンルをカバーしておりますが、総じて日本の出版社さんには海外からのフィクションよりもノンフィクションの方が好まれるようです。というのも、日本市場は韓国の3倍の規模を誇る大きく成熟した出版市場であり、日本作家が様々な作風で高い品質の小説を既に書いているため、

- 海外からのフィクションが市場競争に勝つのは中々難しいという事情があります。一方、ノンフィクションには、極東に位置する日本人の書き手では目も足も届かず、海外でないと書けない本がまだまだ多いようです。
- コロナ禍の時は、日本を含めた世界で求められる本の傾向がドラスティックに変化しました。日本では、コロナ禍の前は、社会で成功する方法、リッチになるメソッドとか、シリコンヴァレーの巨人達とか、勝つための交渉術といったテーマのアメリカの本がよく売れていたのですが、世界的感染という異常事態を受けて、2020年から成功を謳った本が急に売れなくなり、読者はむしろ幸せとか、心の充足とかそういったテーマの本を求めようになりました。社会が一斉に立ち止まり、価値観に変化が生じたのでした。
- 現在、日本の出版市場では漫画の電子書籍が一人勝ちし、雑誌を始め、書籍など紙媒体の出版物の売り上げは1996年をピークに、年々減少の一途をたどり、書店の減少にも施す手がないという厳しい現状です。翻訳書を読まれる人も減少しておりますが、携帯やSNSやビデオやゲームや、行動の選択肢が多くなった現状、そもそも本を読む時間がないまま人生が流れていく人も多く、日本市場の書籍売上UPを計るのは簡単ではありません。
- そういった状況に対応し、ここ数年新たに好調な推移をみせているのが日本の本の翻訳著作権を、海外に売り込む業務です。日本の出版社さんの本作りはとても丁寧できちりしているため、海外からも定評があります。ミステリー小説でも、日本作家のミステリにはトリックに破綻がなく、プロットも緻密で伏線もきちんと回収されています。実際、横溝正史の「犬神家の一族」や「八つ墓村」がイギリスで人気、東野圭吾などの小説は今アメリカの大手版元からよく売れています。
- どちらかといえば欧米にはフィクション小説、物語の方が人気がありますが、中国では日本のノンフィクションが人気です。日本の実業家、稲盛和夫さんの本は中国で長年売れ続けている大ロングセラーですし、「受験脳の作り方」という効率的な勉強の仕方を教えた本もベストセラー記録を更新中です。
- 海外へ翻訳権を輸出する業務にはまだまだ伸び代があり、市場規模もこれからも拡大していくと思われます。日本から広く海外に向けて、もっと積極的に自国の本をアピールするお手伝いを担っていきたいと思います。

以上、本日はお時間をありがとうございました。

まずはメンバーの皆さまのお話を広く伺ってクラブの知識を深めたいと思います。そしていずれ、何かしらクラブに貢献することが出来ますよう、誠意をもって努めていきたいと思っております。これからどうぞよろしくお願いたします。